

平成14年10月28日

各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察特殊報第2号を送付します。

平成14年度病害虫発生予察特殊報第2号

平成14年10月28日

高知県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 サツマイモネコブセンチュウ、ジャワネコブセンチュウ、アレナリアネコブセンチュウ
- 2 発生作物 **ニラ**
- 3 発生確認の経過

(1)2002年3月に高知県香美郡香北町のニラ栽培ハウスにおいて生育むらが見られ、病害虫防除所で調査した結果、根部にネコブセンチュウの卵のうの着生が確認された。

(2)高知県農業技術センター及び独立行政法人九州沖縄農業研究センターにより、雌成虫の形態及び2期幼虫を用いたPCR-RFLP法によって同定を行ったところ県内では未確認のジャワネコブセンチュウであった。

(3)2000年7～9月に、県内の主要ニラ産地のほ場を調査したところ、サツマイモネコブセンチュウ及びアレナリアネコブセンチュウの2期幼虫が検出され(別表)、高知県内のニラ栽培ほ場では頻度、密度は高くないものの、全般的にネコブセンチュウ類が発生していることが明らかになった。なお、ニラでのネコブセンチュウの被害は北海道でキタネコブセンチュウの発生が確認されている。

4 生態及び被害状況

(1)2期幼虫(体長0.4mm)は糸状で土壤中に生息し、根の生長点付近から作物体に侵入、定着後、寄生生活に入る。3回の脱皮後、成虫となるが、雌成虫(体長0.5～0.8mm)はレモン型、雄成虫(体長1.0mm)は糸状である。雌成虫は体外に分泌した卵のうの中に300～500個程度産卵する。

(2)一般的にネコブセンチュウ類に寄生された根部組織は肥大化、コブ状になり肉眼でも認められるが、ニラではこのようなコブの形成や奇形などネコブセンチュウ類特有の症状は認められない。また、発生ほ場では株の生育抑制が見られたものの、ネコブセンチュウ単独の被害によるものであるかは不明であり、現在調査中である。

5 防除対策

(1)現時点では被害実態は明らかにされていないが、連作によりセンチュウ密度は上昇するものと思われ、他の土壤病害虫対策とあわせて発生が認められたほ場では湛水やサウナ処理などの対策が必要である。

(2)なお、紅色根腐病に農薬登録のあるクロルピクリン剤、クロルピクリン・DCIP剤が本線虫にも有効である。

表 高知県内のニラ圃場から採取されたネコブセンチュウ
2002年7～9月

採取場所	線虫数/生土20g	PCR同定結果
夜須町	0	
香北町(3月)	-	ジャワネコブセンチュウ
香北町	0.3	アレナリアネコブセンチュウ
土佐山田町1	0	
土佐山田町2	0	
南国市1	0.3	サツマイモネコブセンチュウ
南国市2	0	
南国市3	0	

佐川町1	0	
佐川町2	0	
佐川町3	0	
佐川町4	0	
佐川町5	0	
佐川町6	0	
須崎市	0	
窪川町1	0	
窪川町2	0	
窪川町3	25.7	サツマイモネコブセンチュウ
佐賀町1	14.0	サツマイモネコブセンチュウ
佐賀町2	0	
佐賀町3	0	

注)ベルマン法(室温、72時間分離)による。
数字は3反復の平均値。